

さっぽろししょう しゃ せいさく ていげん  
札幌市 障がい者による政策提言サポーター  
ていげんしょ たい とりくみじょうきょう  
提言書に対する取組状況

へいせい ねん がつ にち ていしゅつ さっぽろししょう しゃこうつうひじよせいじぎょう  
平成20年9月18日に提出されました「札幌市障がい者交通費助成事業  
みなお かん ていげんしょ たい さっぽろし かんが かた か き  
見直しに関する提言書」に対する札幌市の考え方は、下記のとおりです。

き  
記

せいど みなお しょう かたがた  
この制度の見直しにつきましては、これまで、障がいのある方々をはじめ  
おお みな せいかつじつたい ね きちょう いけん  
め、多くの皆さまから生活実態に根ざした貴重なご意見をいただいております。

これらのご意見を踏まえますと、さらに時間をかけて具体的なご意見を  
いいただく必要があると判断し、見直しの実施時期を1年先送りすることと  
し、平成22年度からのスタートを目指して検討を深めていきたいと考えて  
ております。

せいど かたち りょう しょう かたがた ちいき  
この制度がさまざまな形で利用されており、障がいのある方々の地域  
せいかつ おお ささ せいさく ていげん  
生活にとって大きな支えになっていることから、政策提言サポーターの  
かたがた かんけいだんたい いけんこうかん ていねい じっし せいど りょうじつたい  
方々をはじめ、関係団体などと意見交換を丁寧に実施し、制度の利用実態や  
しょう とくせい かんあん じりつ ちいきせいかつ おく ひつよう  
障がいの特性などを勘案しながら、自立した地域生活を送るために必要な  
しえん かた けんとう かんが  
支援のあり方について検討してまいりたいと考えております。

しょう かたがた ひろ しみん りかい え せいど  
障がいのある方々をはじめ、広く市民の理解が得られる制度となるよう、  
ぎろん かせ かんが りかい きょうりょく  
議論を重ねてまいりたいと考えておりますので、ご理解ご協力ください  
ますようお願い申し上げます。

しょかん ほけんふくし きょく ほけんふくし ぶしょう ふくしか  
(所管：保健福祉局 保健福祉部 障がい福祉課)

へいせい ねん ねん がつ  
平成20年(2008年)10月  
さっ ぼろ し  
札幌市

へいせい ねん がつ にち  
平成20年 9月18日

さっぽろしちょう うえだ ふみお さま  
札幌市長 上田 文雄 様

さっぽろししょう しゃこうつうひじよせいじぎょうみなお かん ていげんしょ  
札幌市障がい者交通費助成事業見直しに関する提言書

さっぽろししょう しゃ せいさくていげん おお しょう しゃ  
札幌市障がい者による政策提言サポーターは、これまで多くの障がい者からの  
こえ き へいせい ねんど だい かいいていげんしょていしゅつ さくねん かい ていげん おこな  
声を聞き、平成16年度の第1回提言書提出から昨年まで4回の提言を行って  
きました。

ほんねんど ていげん し と く じょうきょう しら こうひょう  
本年度については、これまでの提言と市の取り組み状況について調べて、公表  
するを主な活動にしながら、引き続き市民からのご意見やご提言について耳を  
かたむ  
傾けようとしていたところです。

なか さっぽろし しょう しゃこうつうひじよせいじぎょうみなお ていあん  
そうした中で、札幌市からの障がい者交通費助成事業見直しの提案は、あまり  
とうとつ おお りょうしゃ ふあん こんらん あた にんしき  
にも唐突で、多くの利用者に不安と混乱を与えたと認識しています。

ほんねんど ていあん きんきゅう よう こうつうひじよせい ていげん  
そこで、本年度の提案は、緊急を要する交通費助成についての提言といたしま  
す。

しゅし  
【趣旨】

- さっぽろししょう しゃこうつうひじよせいじぎょう みなお じっし へいせい  
○ 札幌市障がい者交通費助成事業の見直し実施については、平成  
ねん がつ じっし はや みおく ていげん  
21年4月の実施は早すぎるので見送るように提言します。

りゆう  
【理由】

- しょうわ ねん さっぽろし たんどくじぎょう しんしんしょう しゃこうつうひじよせいじぎょう  
○ 昭和46年より札幌市の単独事業として心身障がい者交通費助成事業とし  
はじ へいせい ねん せいしんしょう しゃこうつうひじよせいじぎょう はじ さっぽろし  
て始まり、平成10年からは精神障がい者交通費助成事業も始まり、札幌市  
く しょう しゃ しゃかいさんか うえ ひじょう おお やくわり は  
に暮らす障がい者にとっては、社会参加する上で非常に大きな役割を果た  
してきたことは、皆さんが知っています。

- そうした中で、今回の見直し案の提示については、唐突な感じがします。本年  
2月26日に市議会厚生常任委員会で提示された内容については、案とい  
ながら、障がい当事者団体に意見を求めることなく、ましてや我々障がい  
者による政策提言サポーターすら知らされていませんでした。
- さらに、見直し内容についても、外出調査アンケートの平均値が根拠にな  
っていますが、こうしたアンケートは、交通費助成制度のあり方についての別  
な調査が必要であると考えます。
- 今回の見直し提案については、そもそもの出発点に問題があるものと考  
えます。こうしたことから、札幌市としては不信感を招いた今回の進め方に  
ついての反省も必要であり、その上で、改めて障がい当事者をはじめ、  
各種障がい者団体や家族、交通事業者等と、あり方について十分な時間  
をかけて議論をしていくことを要望します。
- さらに、議論にあたっては、障がい特性や交通の使用目的なども十分に  
配慮しながら、進めることを要望します。
- 最後に、上田市長におかれましては、じかに障がい当事者の交通利用状況  
について聞く場を設定いただきたくお願いいたします。

さっぽろししょう　しゃ　せいさくていげん　いちどう  
札幌市障がい者による政策提言サポーター一同